

女性のこころとからだの相談室

Consultation Room for Women's Mental and Physical Health



女性とその家族のための こころとからだの相談室

あらゆるライフステージにおける女性特有の疾病・症状・健康課題や女性の心理社会的背景に配慮した女性のトータルヘルスクエアを目指し、診断されている疾患の有無にかかわらず、女性のこころとからだに関する幅広い悩みに対応する相談室である。自分では解決できないもしくはどこに相談に行けばよいかわからない問題をゆっくりと時間をかけて相談をしたいと思われている方や、拳児を希望されている方、妊娠中の方や育児中の方が対象である。

代表的診療対象疾患

女性の身体的心理的諸問題すべて

月経異常、月経随伴症状、不妊相談、母乳トラブル、断乳相談、育児相談、こころやからだの不調、更年期障害、中高年者の健康増進など

業務内容の特徴と実績

幅広い相談内容に対応

女性のこころとからだの相談室は、女性がそれぞれのライフステージにおいて遭遇する健康問題に対して、こころとからだの両面から総合的に相談に応じることを目的としている。

産婦人科医師が対応する部門と、北病棟2階(産科分娩部)勤務の助産師が対応する部門の2本立てであり、いずれも自費診療として対応している。

前者は、女性のヘルスクエア・心身医療を専門とする産婦人科医師が、年齢や性別を問わず、本人あるいは家族である女性の抱える健康問題の相談に応じ、医学的情報の提供や必要な診療の提案、生活指導、各種専門家との連携などを行っている。継続的なカウンセリングも可能である。

後者には「ママ・ベビー相談室」と「助産師ケア外来」がある。

「ママ・ベビー相談室」では、当院産科に通院中の妊婦・褥婦を中心に、乳房ケアや育児相談、生活指導などを毎日実施している。

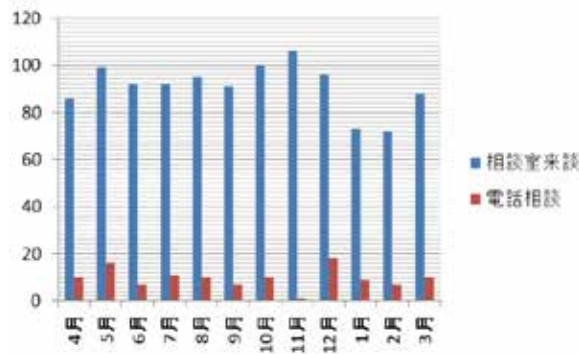
「助産師ケア外来」では、熟練した助産師がより専門的に、不妊カウンセリングから離乳食相談まで、女性が子どもを産み育てるうえで生じるさまざまな相談に応じている。

実績

医師カウンセリング: 2015年秋より開始。

ママ・ベビー相談室: 2014年度の延べ相談件数は、1206件であった(表参照)。

助産師ケア外来: 2013年度より開始。2014年度の延べ相談件数は、150件であった。



2014年度 ママ・ベビー相談室利用者数